

資 料

○ 東京都英語教育戦略会議設置要項	34
○ 東京都英語教育戦略会議構成員名簿	35
○ 東京都英語教育戦略会議 協議経過	38
○ 東京都の英語教育に関するデータ	41
○ 英語に関わる特色ある教育活動を行う都立高校	43
○ 英語以外の外国語科目を設置している都立高校及び都立中等教育学校	45
○ 教職員研修センター 専門性向上研修概要 ー外国語活動・英語ー	46
○ 今後の英語教育の改善・充実方策について 報告（概要）	48
○ 生徒の英語力向上推進プラン	50
○ 「都立高校改革推進計画・新実施計画」の策定について（抜粋）	54
○ 東京都教育施策大綱（抜粋）	56
○ 英語力判定統一試験結果について	57
○ 平成 27 年度「英語教育実施状況調査」の東京都の結果について	58
○ 都独自英語教材「Welcome to Tokyo」について	59
○ 東京グローバル 10	60
○ 英語教育推進校の指定について	61
○ 英語教育推進地域事業の概要	62
○ 英語科教員等の海外派遣研修について	63
○ 「次世代リーダー育成道場」の概要	64
○ 平成 28 年度「外国語体験講座」	65

東京都英語教育戦略会議設置要項

(設置目的)

第1 「都立高校改革推進計画 新実施計画(平成28年2月12日)」や今後の小学校英語教科化等、国内における新たな英語教育の動向を踏まえ、グローバル社会で活躍する人材の育成を目指した具体的な取組の一つとして、都内公立小学校・中学校・高等学校等における東京都独自の英語教育を推進するための中長期的方向性と施策について検討し、具体的方策を議論する。

(検討内容)

第2 東京都英語教育戦略会議(以下「戦略会議」という。)は、下記の事項を検討し、その結果を東京都教育委員会に報告する。

- (1) 英語及び外国語活動の授業の改善
- (2) 教員の指導力向上
- (3) 英語活用場面の拡大による英語学習への動機付け
- (4) その他必要な事項

(構成)

第3 戦略会議は、英語教育専門家をはじめとする外部の有識者による委員及び教育庁関係者をもって構成する。

第4 戦略会議には、座長及び副座長を置く。

- 2 座長は、委員の互選により選任する。
- 3 座長は、委員を招集し、戦略会議を主宰する。
- 4 戦略会議には副座長を置き、座長は、委員のうちから、副座長1名を指名する。
- 5 副座長は、座長を補佐し、座長が不在のときはその職務を代理する。
- 6 委員は別表のとおりとする。

(設置期間)

第5 戦略会議の設置期間は、戦略会議が設置された日から平成29年3月31日までとする。

(専門部会)

第6 戦略会議の協議事項に関する具体的な施策等を検討するため専門部会を設置する。

- 2 専門部会委員は、次に掲げる者から構成する。
(1) 戦略会議委員 (2) 研究会関係者 (3) 学校関係者 (4) 教育庁関係者

(作業部会)

第7 戦略会議の協議事項に関する具体的な作業等を行うため作業部会を設置する。

- 2 作業部会委員は、次に掲げる者から構成する。
(1) 戦略会議委員 (2) 研究会関係者 (3) 学校関係者 (4) 教育庁関係者

(事務局)

第8 戦略会議の事務を処理するため、事務局を指導部指導企画課に置く。

(その他)

第9 本要項に定めるもののほか、戦略会議の運営に関して必要な事項は、座長が別に定める。

附則

この要項は、平成25年6月27日から施行する。

附則

この要項は、平成26年5月28日から施行する。

附則

この要項は、平成28年5月30日から施行する。

平成 25・26 年度東京都英語教育戦略会議構成員名簿

戦略会議委員

※印の委員は専門部会委員を兼ねる

		氏名	所 属 (平成 25・26 年度当時)	任期等
外部 有識者	学識経験者	大迫 弘和	広島女学院大学国際バカロレア調査研究室長	
		太田 光春	文部科学省初等中等教育局 視学官	
		松本 茂 ※	立教大学教授	
		吉田 研作 ※	上智大学教授	H25 副座長・H26 座長
		金谷 憲	東京学芸大学名誉教授	H26. 5. 28～
		根岸 雅史 ※	東京外国語大学大学院教授	H26. 5. 28～
	産業界等有識者	新井 健一	ベネッセ教育総合研究所理事長	
		小池 生夫	一般財団法人英語教育協議会理事長	H25～H26. 5. 28
		草原 克豪	一般財団法人英語教育協議会理事長	H26. 7. 7～
		鈴木 義弘	公益社団法人日本国際生活体験協会専務理事	
		セイン・カミュ	タレント	
		野田 公一	楽天株式会社執行役員グローバル人事部長	
		油井 直次	公益財団法人日本英語検定協会会長	
	学校関係者	青山 彰 ※	都立国際高等学校校長	
井田 宗宏 ※		練馬区立豊玉中学校校長		
大庭 裕 ※		新宿区教育委員会事務局教育支援課国際理解室職員		
教育庁関係者	高野 敬三	教育監	H25 座長・H26 副座長	
	松山 英幸	総務部長	H25～H26. 7. 15	
	堤 雅史	総務部長	H26. 7. 16～	
	金子 一彦	指導部長		
	加藤 裕之	人事部長		
	白川 敦	総務部教育政策担当部長		
	出張 吉訓	都立学校教育部教育改革推進担当部長		
	鯨岡 廣隆	指導推進担当部長	H26. 9. 30～	
	伊東 哲	教職員研修センター 研修部長		

(敬称略)

平成 25・26 年度東京都英語教育戦略会議専門部会構成員名簿

専門部会委員

※印の委員は戦略会議委員を兼ねる

	氏名	所 属 (平成 25・26 年度当時)	備 考
戦略会議委員	青山 彰 ※	都立国際高等学校校長	
	井田 宗宏 ※	練馬区立豊玉中学校校長	
	大庭 裕 ※	新宿区教育委員会事務局教育支援課国際理解室職員	
	根岸 雅史 ※	東京外国語大学大学院教授	H26. 5. 28～
	松本 茂 ※	立教大学教授	
	吉田 研作 ※	上智大学教授	
関係者 研究会等	木下 和彦	東京都高等学校英語教育研究会会長	
	佐々木 正文	全国英語教育研究団体連合会会長	
	山本 新治	一般財団法人 英語教育協議会 理事	H26. 9. 20～
学校関係者	加藤 まい子	都立国際高等学校主任教諭	H26. 5. 28～
	河上 昭恵	都立葛飾総合高等学校主任教諭	H26. 5. 28～
	川名 綾子	都立荻窪高等学校主任教諭	H26. 5. 28～
	佐藤 留美	都立西高等学校主任教諭	H26. 5. 28～
	下山 宣子	都立千早高等学校主任教諭	
	問谷 薫	都立板橋有徳高等学校主任教諭	H26. 5. 28～
	富永 健太	都立国際高等学校主任教諭	H26. 5. 28～
	中野 達也	都立白鷗高等学校主任教諭	H26. 5. 28～
	布村 奈緒子	都立両国高等学校主任教諭	H26. 5. 28～
	渡邊 敦子	都立新宿高等学校主任教諭	H26. 5. 28～
	高橋 聡	都立両国高等学校主幹教諭	H25
	ブラッドリー・ジョンストン	外国人英語等教育補助員	
	田中 久美子	文京区立第九中学校主幹教諭	H26. 5. 28～
	相沢 秀和	国分寺市立第一中学校 指導教諭	H26. 5. 28～
	関谷 さやか	世田谷区立三宿中学校主任教諭	
	原田 博子	江東区立有明中学校主任教諭	H26. 5. 28～
	大島 賢	台東区立根岸小学校主幹教諭	
	西田 さゆり	北区立岩淵小学校教諭	H26. 5. 28～
	島山 芽含	足立区新田学園足立区立新田小学校主任教諭	H26. 5. 28～
	教育庁関係者	壹貫田 剛史	総務部教育政策課長
矢野 克典		総務部企画担当課長	
引場 信治		総務部オリンピック・パラリンピック教育施策担当課長	H26. 5. 28～
谷 理恵子		総務部予算担当課長	H26. 5. 28～
曾根 稔		都立学校教育部都立高校改革推進担当課長	
川越 豊彦		都立学校教育部入学選抜担当課長	
増渕 達夫		指導部指導企画課長	
江本 敏男		指導部高等学校教育指導課長	
安間 英潮		指導部義務教育特別支援教育指導課長	
川名 洋次		人事部選考課長	
瀧沢 佳宏		指導部国際教育推進担当課長	
宇田 剛		教職員研修センター企画部企画課長	
岩崎 治彦		指導部主任指導主事 (幼児教育・環境教育担当)	H26. 5. 28～
窪田 香		指導部義務教育特別支援教育指導課指導主事	H26. 5. 28～

(敬称略)

平成 28 年度東京都英語教育戦略会議構成員名簿

戦略会議委員

		氏 名	所 属	任期等
外部有識者	学識経験者	松本 茂	立教大学教授	
		吉田 研作	上智大学 言語教育研究センター長	H28 座長
		根岸 雅史	東京外国語大学大学院教授	
関係者	学校	荻野 勉	都立国際高等学校校長	
		山崎 俊英	立川市立第四小学校長・東京都小学校英語活動研究会長	
教育庁関係者		伊東 哲	教育監	H28 副座長
		出張 吉訓	指導部長	
		増田 正弘	都立学校教育部教育改革推進担当部長	
		宇田 剛	指導推進担当部長	
		増渕 達夫	教職員研修センター 研修部長	

(敬称略)

平成 25 年度 東京都英語教育戦略会議 協議経過

事 項	時 期	協議内容
第1回 戦略会議 専門部会	平成 25 年 6 月 27 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ○東京都英語教育戦略会議の趣旨説明 ○会議設置の背景について ○育てるべき生徒像について ○求められる英語力について
第2回 専門部会	平成 25 年 7 月 18 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ○議論の観点について ○授業改善について ○評価と入試について ○英語授業の実施状況調査結果について ○学校における英語授業の現状について ○小・中学校の現状について
第2回 戦略会議	平成 25 年 7 月 25 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ○英語授業の実施状況調査結果について ○英語教育推進のための方策案について ○大学入試と改善の方向性について ○外国人の活用について
第3回 専門部会	平成 25 年 9 月 30 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ○CAN-DO リストについて ○英語で指導できる教員の育成について ○授業改善について ○外国人の活用について
第3回 戦略会議	平成 25 年 10 月 28 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ○今後の方向性について ○グローバル人材の育成について ○目標管理について ○具体的方策について
第4回 専門部会	平成 26 年 1 月 28 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ○英語力判定統一試験の結果について① ○中間報告書構成案について
第4回 戦略会議	平成 26 年 2 月 4 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ○英語力判定統一試験の結果について ○調査校に関するデータについて ○グローバル化に対応した英語教育改革実施計画について
第5回 専門部会	平成 26 年 3 月 4 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ○英語力判定統一試験の結果について② ○検討のまとめについて
第5回 戦略会議	平成 26 年 3 月 11 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ○英語力判定統一試験調査結果の分析について ○オリンピック開催に向けた国際理解教育の推進について

平成 26 年度 東京都英語教育戦略会議 協議経過

事 項	時 期	協議内容
第1回 戦略会議 専門部会	平成 26 年 5 月 28 日 (水)	○平成 25 年度の検討結果について ○CAN-DO リスト作成方針について ○都独自教材の作成方針について
第2回 専門部会	平成 26 年 6 月 17 日 (火)	○平成 25 年度検討結果のまとめについて ○作業部会 ・CAN-DO リスト作成部会 (作成方針・方向性等) ・教材作成部会 (作成のねらい、活用場面等)
第2回 戦略会議	平成 26 年 7 月 7 日 (月)	○第2回 専門部会報告及び検討内容について ○「英語教育戦略会議 中間報告 (案)」の検討
第3回 作業部会 専門部会	平成 26 年 9 月 25 日 (木)	○小・中学校の英語教育の現状と課題について ○作業部会 ・CAN-DO リスト作成部会 (目的、観点、言語材料等) ・教材作成部会 (言語材料、言語活動、活用場面等)
第3回 戦略会議	平成 26 年 10 月 15 日 (水)	○「東京都英語教育戦略会議 中間報告」について ○小・中学校の英語教育の現状と課題について
第4回 作業部会	平成 26 年 11 月 13 日 (木)	○CAN-DO リスト作成部会 (目標、手段、小中高の一貫性等) ○教材作成部会 (言語材料、言語活動、活用場面等)
第4回 専門部会	平成 26 年 12 月 3 日 (水)	○小・中学校の英語教育の現状と課題について ○CAN-DO リスト作成部会 (目標、観点、言語材料等) ○教材作成部会 (言語材料、言語活動、活用場面等)
第4回 戦略会議	平成 27 年 1 月 7 日 (水)	○小・中学校の英語教育の現状と課題・改善策について ○CAN-DO リスト作成部会 (目標、観点、言語材料等) ○教材作成部会 (言語材料、言語活動、活用場面等)
第5回 作業部会	平成 27 年 1 月 14 日 (水)	○CAN-DO リスト作成部会 (目標、観点、言語材料等) ○教材作成部会 (言語材料、言語活動、活用場面等)
第5回 専門部会	平成 27 年 1 月 22 日 (木)	○小・中学校の英語教育の現状と課題・改善策について ○CAN-DO リスト作成部会 (目標、観点、言語材料等) ○教材作成部会 (言語材料、言語活動、活用場面等)
第5回 戦略会議	平成 27 年 2 月 19 日 (木)	○「東京都英語教育戦略会議報告書 (案)」について
第6回 戦略会議 専門部会	平成 27 年 3 月 25 日 (水)	○「東京都英語教育戦略会議報告書 (案)」について

平成 28 年度 東京都英語教育戦略会議 協議経過

事 項	時 期	協議内容
第 1 回 戦略会議	平成 28 年 5 月 28 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校英語の教科化への対応について ○新たな学校の設置 (国際色豊かな学校の拡充)
第 2 回 戦略会議	平成 28 年 7 月 5 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ○平成 28 年度検討結果のまとめについて ○「東京都英語教育戦略会議報告書 (案)」について

東京都の英語教育に関するデータ

1 公立小学校・中学校・高等学校数（平成27年度）

小学校	1,292 (校)		
中学校	621 (校)		
高等学校	全日制	173 (131)	186 (校)
	定時制	55 (13)	

「平成27年度公立学校統計調査報告書（学校調査）」（平成27年5月1日現在東京都教育委員会）より

- (注) 1 学校数には、分校を含む。
 2 ()内は、課程別単独校の数
 3 全日制と定時制を併置する学校があるため、合計と内訳の計は一致しない。

2 公立小学校・中学校・高等学校児童・生徒数

小学校	562,969 (人)
中学校	233,762 (人)
高等学校	137,251 (人)

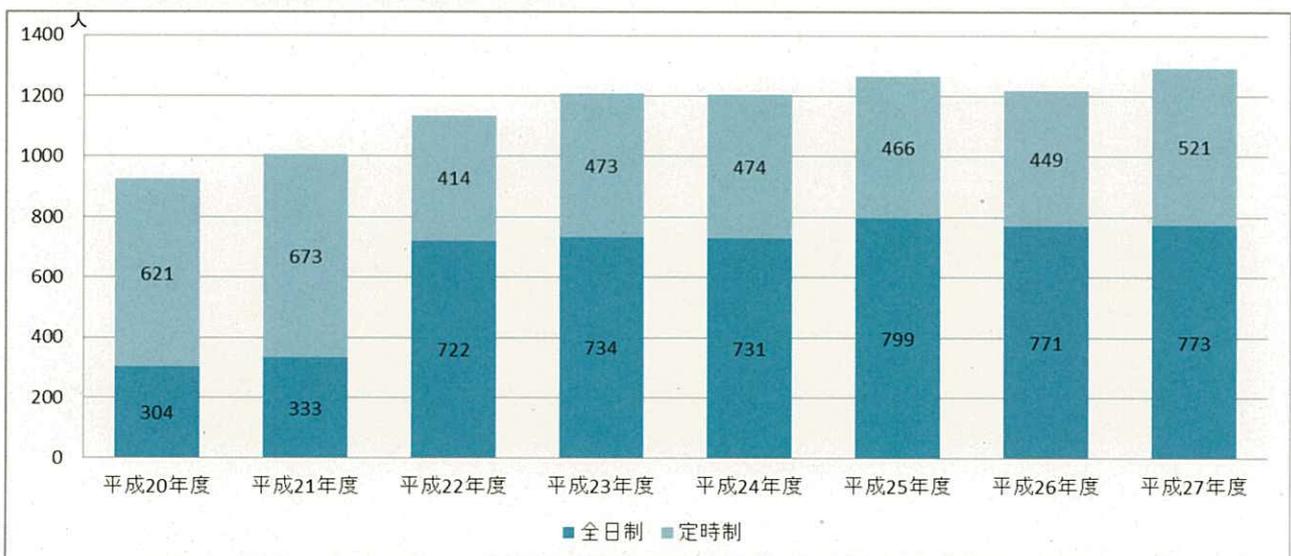
「平成27年度公立学校統計調査報告書（学校調査）」（平成27年5月1日現在東京都教育委員会）より

3 公立小学校・中学校・高等学校教員数

小学校	31,590 (人)		
中学校	15,266 (人)		
高等学校	全日制	8,444 (人)	9,835 (人)
	定時制	1,391 (人)	

「平成27年度公立学校統計調査報告書（学校調査）」（平成27年5月1日現在東京都教育委員会）より

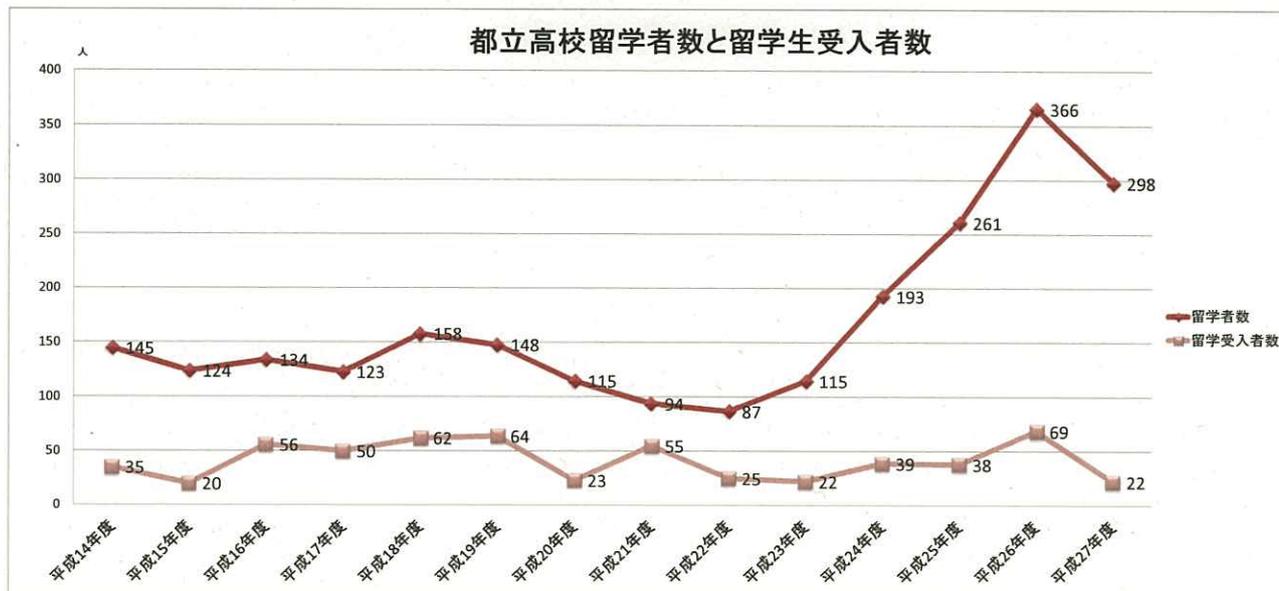
4 外国人生徒の推移（公立高等学校）



平成25年度から平成27年度の「公立学校統計調査報告書（学校調査）」（東京都教育委員会）を基に作成

5 留学者数と留学受入者数

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
留学者数	145	124	134	123	158	148	115	94	87	115	193	261	366	298
留学受入者数	35	20	56	50	62	64	23	55	25	22	39	38	69	22



「都立高等学校等の海外交流事業及び生徒の留学等に関する実態調査」より

6 都立高校における外国人指導者の任用等

	JET	外国語指導助手(ALT)
任用	地方公共団体 (一般財団法人自治体国際化協会がありません)	都教育委員会
契約	1年間(最大4回更新可。通算5年まで)	1年間(更新可。制限なし)
勤務形態	月16日勤務(1日7時間45分)	時間勤務
給与・報酬	年間初年度336万円 (更新により ~396万円)	1時間5,500円
経費	保険や交通費の他、渡航費用、住宅関連経費等を負担(一人当たり合計450万~500万円)	保険や交通費を負担
配置人数 配当時間	平成28年度 200人	平成28年度 78,907時間
予算規模 (平成28年度)	1,161,177千円	467,330千円(都立高校・中学分)
業務	授業の補助、教材作成の補助、教員研修の補助、特別活動や部活動、国際交流活動への協力等	授業の補助、リスニングテスト作成等
授業形態	日本の教員免許を持たないため、日本人教員とともに授業を行う(チーム・ティーチング)。	

英語に関わる特色ある教育活動を行う都立高校

(1) 外国語系コースを設置する学校・・・・・・・・深川高校、田柄高校、松が谷高校、小平高校

○深川高校〔外国語コース〕

ALT 及び JET による少人数授業、英語合宿、オーストラリア語学研修（希望者）、外国語コース講演会（英語による国際理解に関する講義と質疑応答）、第二外国語（中国語、ドイツ語、フランス語）、英検、GTEC、TOEICを受験、全国高等学校生徒英作文コンテスト、東京都高英研主催の高校生英語ディベート・スピーチ大会参加

○田柄高校〔外国文化コース〕

ALT 及び JET による1クラス2展開の少人数授業、様々な国籍の生徒たちとの日々の多文化交流、「異文化理解」科目の学習、来日した高校生使節団との交流、「留学生が先生」（留学生との交流）、「浅草ウォーキングツアー」（留学生と浅草散策）等を実施

○松が谷高校〔外国語コース〕

ALT 及び JET による1クラス3展開の少人数授業、PCLL（パソコン教室及び視聴覚教室）を活用した洋画を教材とする授業、PCによる英検対策自習プログラム、レシテーション（暗唱）/ スキットコンテスト、英語書評合戦、GTECを受験、イングリッシュサマーキャンプ、国際理解講演会、国際理解教室、国際交流行事

○小平高校〔外国語コース〕

ALT 及び JET による少人数授業（英語、第二外国語）、授業内多読多聴、第二外国語（中国語、ドイツ語、フランス語、韓国語、スペイン語）、アメリカ語学研修、国際ロータリークラブ交流事業、レシテーション（暗唱）・コンテスト、テンプル大学イマージョン・キャンプ、英検、GTECを受験（全生徒）、国際交流（海外高校連携・協定9校）、留学生受入れ（メキシコ、イタリア）、海外修学旅行（台湾）、外部英語ディベート・スピーチ・英作文コンテストへの参加ほか

(2) 国際関係に関する学科等の学校・・・国際高校、大島海洋国際高校、立川国際中等教育学校

○国際高校〔国際学科〕

普通教科と専門教科の二領域で構成、専門教科は外国語科（主に英語、希望によりドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、朝鮮語）、国際理解科（文化理解、社会理解、環境理解の3領域）、課題研究等により構成。平成27年度から、国際バカロレアコースを設置。世界共通の統一試験に合格することで、国際的に認められる大学進学資格（フルディプロマ）を取得できる。

○大島海洋国際高校〔海洋国際科〕

国際航海（2年次に類型ごとの国際航海を実施）、観測航海（3年次に希望者を対象、東京都沖ノ島島周辺海域の海洋観測調査を実施）、ドミトリ（大島のドミトリ（寄宿舍）での共同生活を通じて、寄宿舍生活を運営）など特色ある教育を実施

○立川国際中等教育学校

5人の外国人講師（ALT+JET）による「英会話」「英語表現」の発信型の授業の実践、第二外国語（フランス語・ドイツ語・中国語）の実践、全科目で習熟度別少人数授業（2クラス2から4展開）の実践、海外帰国子女生・在京外国人の受入れ、留学生（長期・短期）の積極的な受入、海外研修旅行の実践（オーストラリア、5年生希望者対象）、エンパワーメントプログラムの実施、イングリッシュ・サマーセミナー、英語合宿、英語学習発表会の実施

(3) ビジネスコミュニケーション科、単位制・・・・・・・・千早高校、大田桜台高校、飛鳥高校

○千早高校〔ビジネスコミュニケーション科〕

地域や企業、大学やNPO等との連携による「コミュニティデザイン」、「ソーシャルビジネス」の授業におけるフィールドワーク、実社会における課題解決能力やプレゼンテーション能力の向上、「ERP（多読と発表）」の授業のほか、イングリッシュキャンプや海外英語ビジネス研修旅行（修学旅行）、英国夏季語学研修等において授業で学んだ英語を実際に活用し、コミュニケーション能力を育成

○大田桜台高校〔ビジネスコミュニケーション科〕

英語のほか、国語教育を重視、小論文指導、書評大会や日本の伝統・文化理解教育、言語能力向上拠点校に指定、読書活動の充実やプレゼンテーション能力の向上、「キャリアデザイン」、「東京の経済」、「プレゼンテーション技術」等の豊富な学校設定科目を学ぶことにより、3年間を通じて体系的・計画的にキャリア教育の育成

○飛鳥高校〔単位制普通科〕

外国語講座の充実（コミュニケーション・スキルズ、英語でのディスカッション、時事英語、映画等映像教材を活用した英語のビジュアル・リスニング）、5人の英語ネイティブスピーカー、ALTによる授業、ネイティブスピーカーによる第二外国語講座（フランス語、中国語、スペイン語）、海外修学旅行、オーストラリアホームステイ語学研修

平成28年度 英語以外の外国語の科目を設置している都立高校及び都立中等教育学校

	学校名	中国語	フランス語	ドイツ語	韓国・朝鮮語	スペイン語	ロシア語	イタリア語	計
1	足立東	○							1
2	荒川商業	○			○				2
3	南葛飾	○			○				2
4	葛飾総合	○	○		○			○	4
5	日比谷	○	○	○	○				4
6	六本木	○			○				2
7	青山		○	○					2
8	竹早		○	○					2
9	向丘	○	○						2
10	工芸	○							1
11	忍岡	○	○	○	○				4
12	竹台	○	○		○				3
13	三田	○	○	○					3
14	八潮	○							1
15	大森	○			○				2
16	つばさ総合	○	○	○		○			4
17	三原		○						1
18	晴海総合		○	○		○			3
19	大田桜台	○				○			2
20	墨田川		○	○					2
21	深川	○							1
22	葛西南	○			○				2
23	芦花	○	○	○	○				4
24	富士	○	○	○					3
25	西	○	○	○					3
26	杉並総合	○	○		○	○			4
27	小山台	○			○				2
28	新宿	○	○	○	○				4
29	桜町	○							1
30	深沢	○							1
31	第一商業	○							1
32	世田谷総合	○	○		○				3
33	国際	○	○	○	○	○			5
34	北園	○	○	○			○		4
35	飛鳥	○	○			○			3
36	王子総合		○	○					2
37	戸山		○	○					2
38	武蔵丘	○		○					2
39	光丘	○							1
40	田柄	○	○						2
41	大泉桜	○							1
42	町田総合				○				1
43	若葉総合	○	○						2
44	富士森	○			○				2
45	松が谷					○			1
46	砂川	○	○						2
47	府中東	○							1
48	第五商業	○							1
49	東久留米総合		○	○					2
50	青梅総合	○	○	○	○				4
51	上水		○	○	○				3
52	小平	○	○	○	○	○			5
53	東村山西	○							1
54	小石川中等	○	○	○					3
55	桜修館中等	○	○	○	○	○			5
56	立川国際中等	○	○	○					3
	計	45	33	24	21	9	1	1	

平成 28 年度 東京都教職員研修センター 専門性向上研修概要

—外国語活動・英語—

	研修名	内容	対象				定員
			小	中	高	特別支援	
1	小学校外国語活動の授業づくり	具体的な教材や授業展開、基本的な指導法、学習評価について学ぶ。	○			○	35
2	教科化を見据えた外国語活動の指導法（理論）	教科化を見据えた外国語活動の指導法を理解し、授業づくりの具体的な展開について学び、外国語活動の指導力の向上を図る。	○	○		○	200
3	教科化を見据えた外国語活動の指導法（実践）	教科化を見据えた外国語活動の指導法について、模擬授業などを通して学び、外国語活動の指導力の向上を図る。	○	○		○	50
4	授業づくりの基礎・基本	学習指導要領の目標及び内容等を理解し、基本的な授業展開や指導法、学習評価について学ぶ。		○	○	○	中・特 50 高・特 30
5	4技能を育成する授業づくり（理論）	4技能を育成する指導法や授業づくりの理論について学び、中学校英語の指導力の向上を図る。		○		○	30
6	4技能を育成する授業づくり（実践）	4技能を育成する指導法や授業づくりについて、実践を通して学び、中学校英語の指導力の向上を図る。		○		○	30
7	今日的課題と指導の在り方（理論）	英語教育の今日的な課題とこれからの指導の在り方について理解し、小中高大の円滑な接続を図る指導について学び、英語の指導力向上を図る。		○	○	○	中・特 30 高・特 30
8	今日的課題と指導の在り方（実践）	授業づくりの課題解釈について、模擬授業等を通じて学び、英語の指導力向上を図る。		○	○	○	中・特 30 高・特 30
9	ALT 等を活用した授業	中学校における効果的なネイティブ・スピーカーの活用や授業の工夫などについて学び、英語教育を推進する力を高める。		○		○	30
10	JET 等を活用した授業（基礎・基本の定着）	生徒に基礎的な学力を定着させるための、JET 等とのチーム・ティーチングの指導法について学び、高等学校英語の指導力の向上を図る。			○	○	100
11	JET 等を活用した授業（実践力の育成）	JET 等のネイティブ・スピーカーの効果的な活用や授業の工夫などについて学び、高等学校における英語教育を推進する力を学ぶ。			○		100
12	英語力向上集中講座	外国人講師等との英語による会話等を通して、実践的な英語力を高める。	○	○	○	○	小・特 325 中・特 90 高・特 45
13	TESOL 等を用いた英語の授業のねらいと実践	海外派遣者の実践報告等を通して、TESOL 等の指導法を学び、英語教育を推進する力を高める。		○	○	○	中・特 30 高 200
14	外部専門機関と連携した英語力向上のための教員研修	英語によるコミュニケーション能力の向上を図り、英語教育を推進する力を高める。		○	○		50
15	英語教育推進リーダー中央研修還元研修	最新の指導理論や方法について研修することにより、東京都における英語教育を推進する力を高める。			○	○	150

	研修名	内容	対象				定員
			小	中	高	特別支援	
16	東京イングリッシュガイド養成のための指導者研修(史跡)/(歴史)	東京の史跡等を巡って、英語でガイドしたり、東京の歴史を英語で紹介したりするポイントを学び、東京を英語で案内できる高校生ボランティア「東京イングリッシュガイド」を育成する力を高める。			○		各50
17	英語カフェテリア講座	カフェテリア形式で外国人講師との会話等を通して、実践的な英語力を高める。	○	○	○	○	小・特120 中・特90 高・特45
18	英検取得支援講座 準2級/2級/準1級/1級	英語検定試験を取得することを目標として、実践的な英語力を高める。 〔準2級・2級は小学校・特別支援を対象 準1級・1級は中学校・高等学校・特別支援を対象〕	○	○	○	○	小・特220 中・高・特745
19	TOEIC 730点/860点突破支援講座	TOEIC 730点/860点以上を取得することを目標として、実践的な英語力を高める。			○	○	各30